

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス元気の学校			
○保護者評価実施期間	2024 年 12 月 15 日		～	2025 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	2025 年 1 月 15 日		～	2025 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 4 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内の部屋の分別 大部屋1 小部屋2が用意されている。 高齢者デイサービス も同施設に配置されてる	大部屋はボルタリングも設置しており、広いスペースで動きの活動に利用している 小部屋は、着替え クールダウン 静の活動としてりようしている。	Teachプログラムを活用し部屋の役割や用途の明確化、をなかり 構造化することで安心安全に活動出来る場をさらに整えていく。
2	施設内併設の高齢者デイサービスや地域住人との交流	季節行事 イベント等はプログラムとして高齢者デイサービスや地域と交流。避難訓練等も地域の人と訓練を実施。ハロウィンや餅つき大会、自社お祭りも共に参加し、協力またお互い知る機会を増やしていく。	既存の活動だけでなく高齢者の方々と楽しいイベントを企画計画する事で共にインクルージョンの実現に向け社会への参画を行っていく
3	社会参加、就労へむけての 法人事業 駄菓子屋での活動	商品の仕入れ 値付け 販売 レジ 接客の体験をしている。 お金の仕組みや計算の練習 接客での心得や 地域住人との交流により社会体験の機会を作っている。	外出において買い物体験や外食の体験を通して実際に店員さんとのやりとりや 接客のモデルとする事で、接遇の機会を設けさらなる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	来られている地 によって平日は利用時間が短く個々として考えて時に細かな支援・ケアが難しい場面も見られる。	関係機関との細かな連絡調整申し送りの不十分さ	行き来しやすい関係を作る事で、細かな状況が共有されるように勤めていく。
2	其々が畑の違う分野でしてきている為に発達障害における知識に差がみられる。	知識を共有する場面が不十分である。	施設内での研修の拡充や外部研修に参加することで、それぞれの底上げを図ると共に 困り感を相談出来る場を定期的に作っていく。
3			